

発表者 神奈川県立大和東高等学校 P T A

『持続可能な活動に向けた P T A 活動の見直し ～豚汁提供を通して～』

豚汁について

豚汁提供は大和東高校で 10 年以上前から続いている P T A 活動の 1 つです。12 月のスポーツ大会の日に豚汁を提供すること



で、寒い時期に手料理を振る舞い、直接生徒と触れ合うことで P T A 活動への理解を深める取り組みです。令和 2 年度～令和 4 年度までの 3 年間はコロナの影響により中断を余儀なくされましたが、昨年度から再開することができました。丸 3 年中断し、豚汁提供を経験した P T A の方もおらず、現 P T A 役員からすると新たな取り組みが始まったように感じ、負担感を減らすために実施方法を見直すことにしました。次に見直し内容をまとめます。

この活動の目的は「生徒と直接触れ合い、理解を深める」ことであるため、見直しをする上で、それ以外の部分での負担軽減について考えました。一番の負担は大量の食材の下準備にあると考え、その手間を省く方法としてカット野菜を利用することにしました。このことで、前日や当日の朝に行っていた下準備が不要になりました

コロナ前

豚小間肉	25kg
大根	35 本
ごぼう	42 袋
人参	70 本
こんにゃく	56 枚
里芋	3 袋(500g)
油揚げ	63 袋
絹豆腐	28 個
長ネギ	21 本

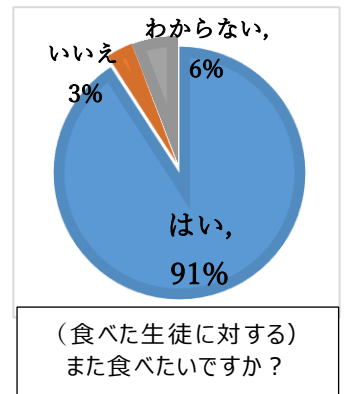
※大鍋 8 個分

コロナ後

事前炒め廃止
味噌汁の具で代用 ※大根、ごぼう、人参、 こんにゃく入
それぞれカット 野菜にて代用

た。また、生ごみ等が出なくなったことで、その処理もなくなり、さらなる負担軽減につながりました。3 年ぶりの実施であったため、生徒も豚汁

の存在を知らず、生徒に実施したアンケートでは「豚汁提供を知らなかった」という生徒が 3 割程度いました。「食べた」と回答した生徒の 9 割が「また食べたい」と回答しており、参加した生徒は満足した様子でした。実施した我々も直接生徒と触れ合い、喜ぶ姿を見ることができました。負担を削減しつつも、生徒も P T A としても満足度が高い結果を得ることができました。



まとめ

生徒の活動を支えるために P T A 役員による活動は必要不可欠ですが、負担が多く、担い手が少ない状況では継続は難しいと思います。今回はコロナの影響により活動内容を見直すきっかけになりましたが、P T A 役員の任期は短く、多くの活動が踏襲して行われる傾向があるため、自主的に見直ししていく必要があると感じました。P T A 活動が持続可能なものになるよう、活動と負担の均衡を意識して活動していくことが重要であると感じました。